

## 7. 薬物乱用について

### Q28 違法薬物の種類を知識として知っていますか [択一]

違法薬物の種類を知識として「知っている」と回答した学生は31.3%であった。また61.0%の学生が「ある程度知っている」と回答した。よって合計で92.3%の学生は違法薬物の知識があることを認めた。「全く知らない」に関しては6.6%であり、少数意見ではあるが5%を上回っている。「知っている」に関しては、男子学生33.7%に対して女子学生28.4%と、男子学生のほうが高い。一方で、「ある程度知っている」に関しては、男子学生58.0%に対して女子学生66.8%と、女子学生のほうが高かった。

2010年度と比較して、「知っている」、「ある程度知っている」、「全く知らない」のいずれの項目においても、ほとんど差異はみられない。

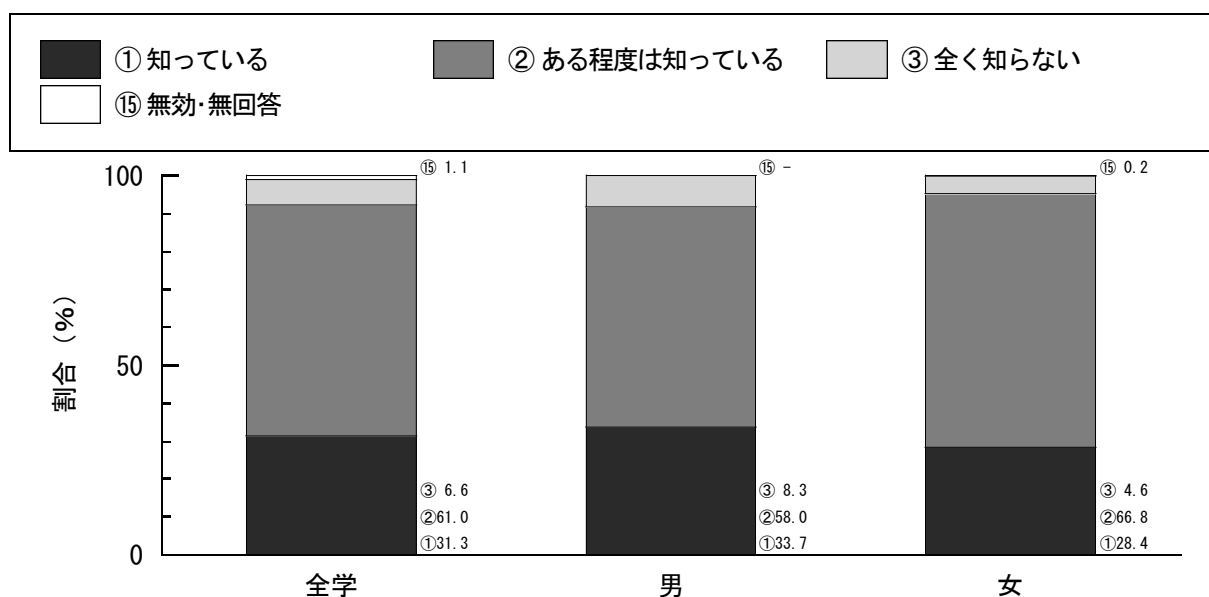


図7-1-a Q28の集計結果(全学・男・女別)

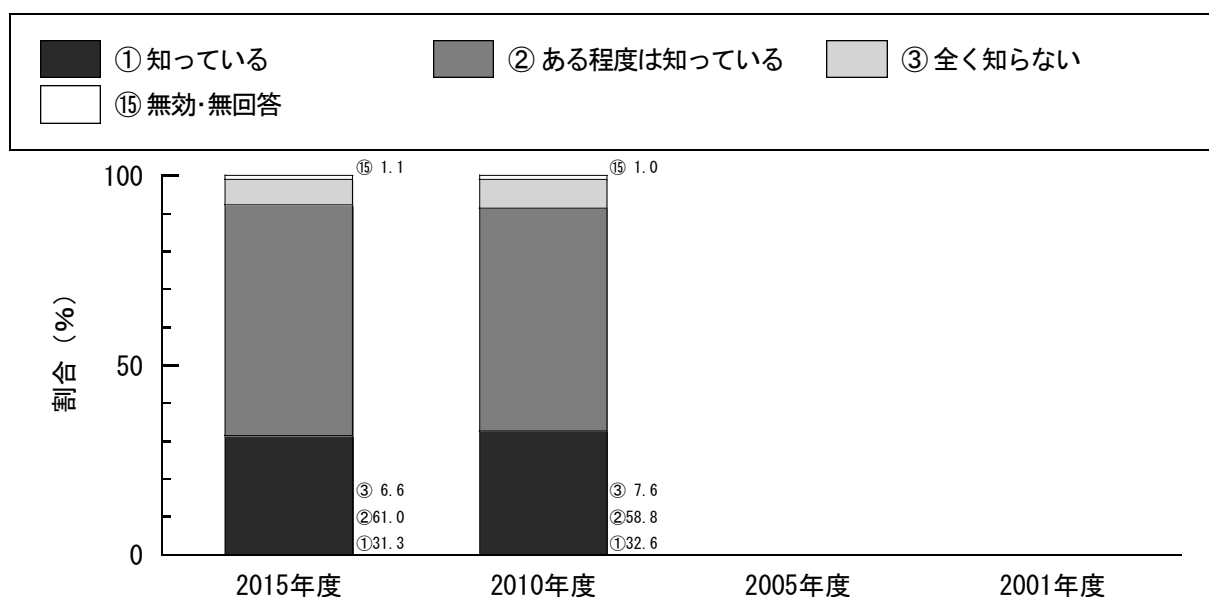


図7-1-b Q28の集計結果(全学に関する調査年度別)

### Q29 違法薬物の使用を勧められたことはありますか [択一]

違法薬物の使用を誘われたことは「ない」と回答した学生は97.8%と大多数であった。一方で誘われたことが「ある」と回答した学生が1.0%存在した。そのほとんどは「学外で誘われたことがある」ではあるが、「学内で誘われたことがある」として0.1%があがっており、学内にて違法薬物の勧誘があったことがわかった。男女間の比較より、「学内で誘われたことがある」のは男子学生であることが分かる。

年度別の集計では、2010年度と比較して2015年度も違法薬物の使用を勧められたことのない学生の割合は97%以上で、学内あるいは学外で誘われたことがある学生の割合はほぼ1%と、変化はほとんどなかった。

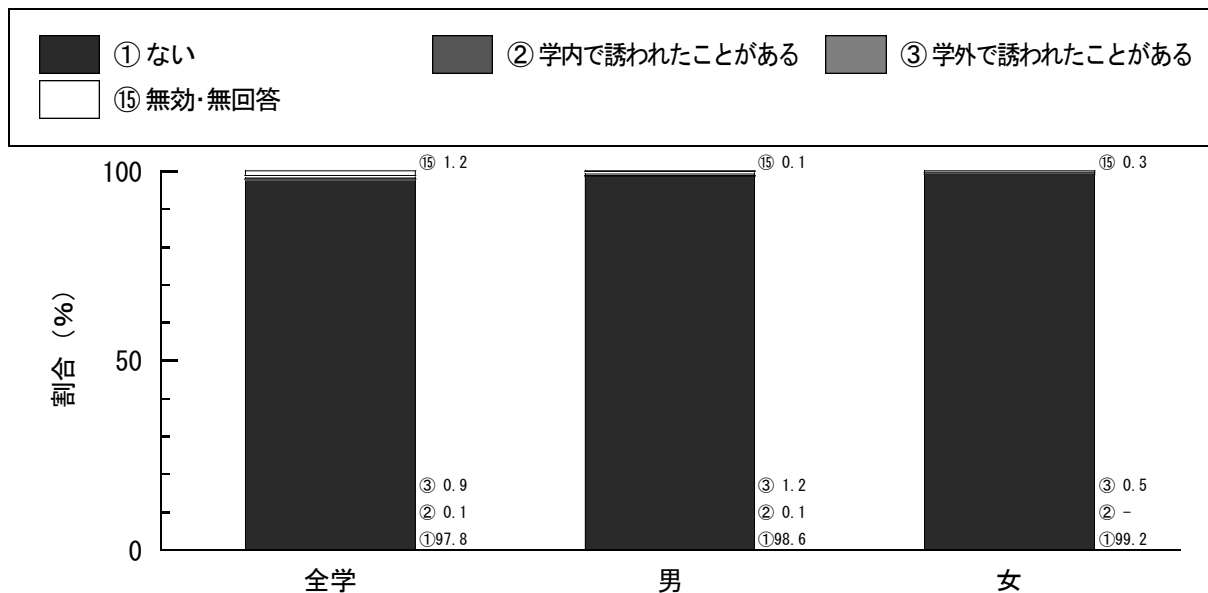


図7-2-a Q29の集計結果(全学・男・女別)

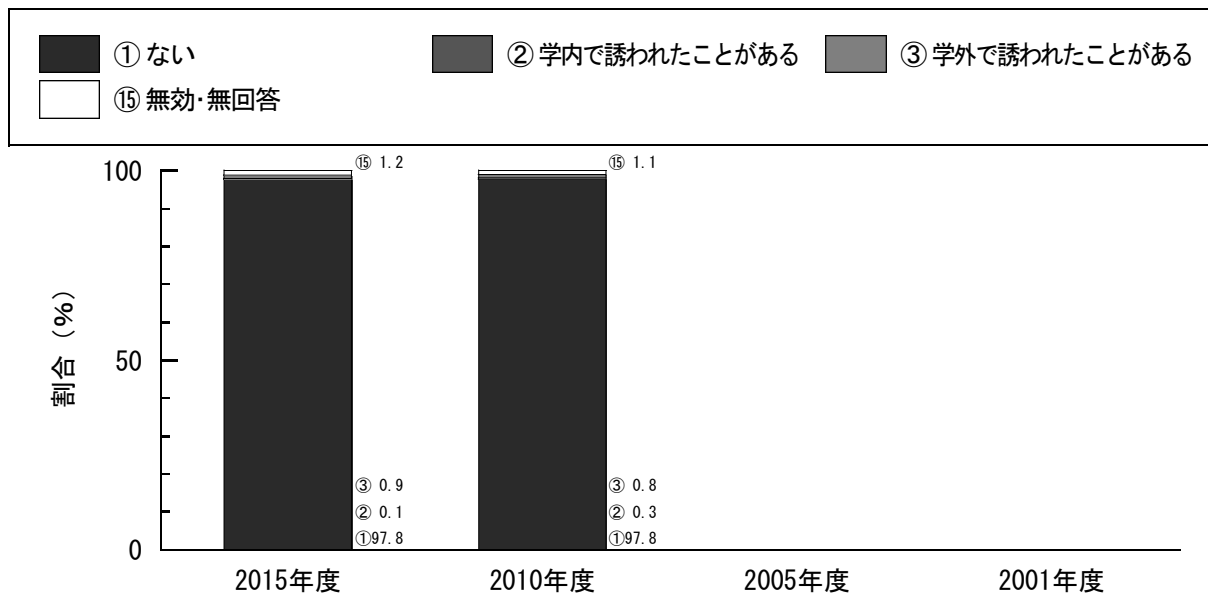


図7-2-b Q29の集計結果(全学に関する調査年度別)

### Q30 もし、違法薬物の使用を勧められたら、あなたはどうしますか [択一]

「絶対に使用しない」と回答した学生は 92.7%、「多分使用しないと思う」と回答した学生は 3.8%であった。よって 96.5%の学生が絶対あるいは多分使用しないとの回答であったことになる。男女間においてほとんど差異はみられない。男子学生においては 0.8%生が「興味本位で使用するかもしれない」と回答し、1.7%が「分からない」と回答している。女子学生においては「分からない」が 0.3%であった。

2010 年度と比較すると、絶対に違法薬物を使用しない学生と多分使用しないと思う学生の割合を合計値はともに 96%以上とほとんど変化はない。「興味本位で使用するかもしれない」学生に関しても、およそ 0.5%でほぼ横ばいであった。

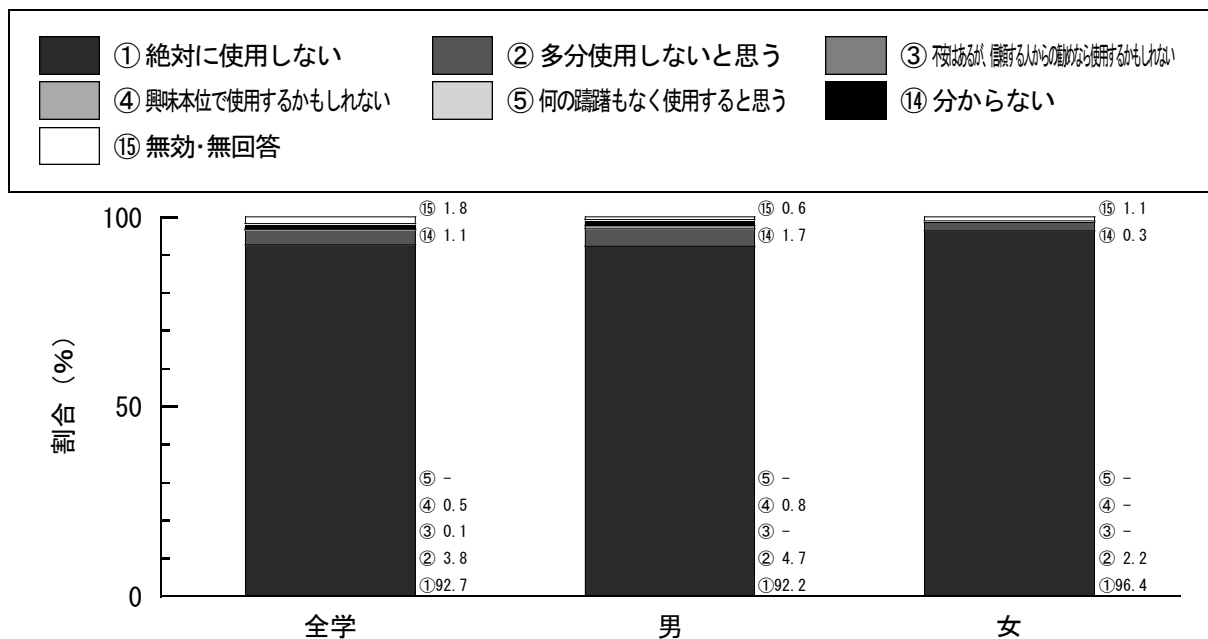


図 7-3-a Q30 の集計結果 (全学・男・女別)

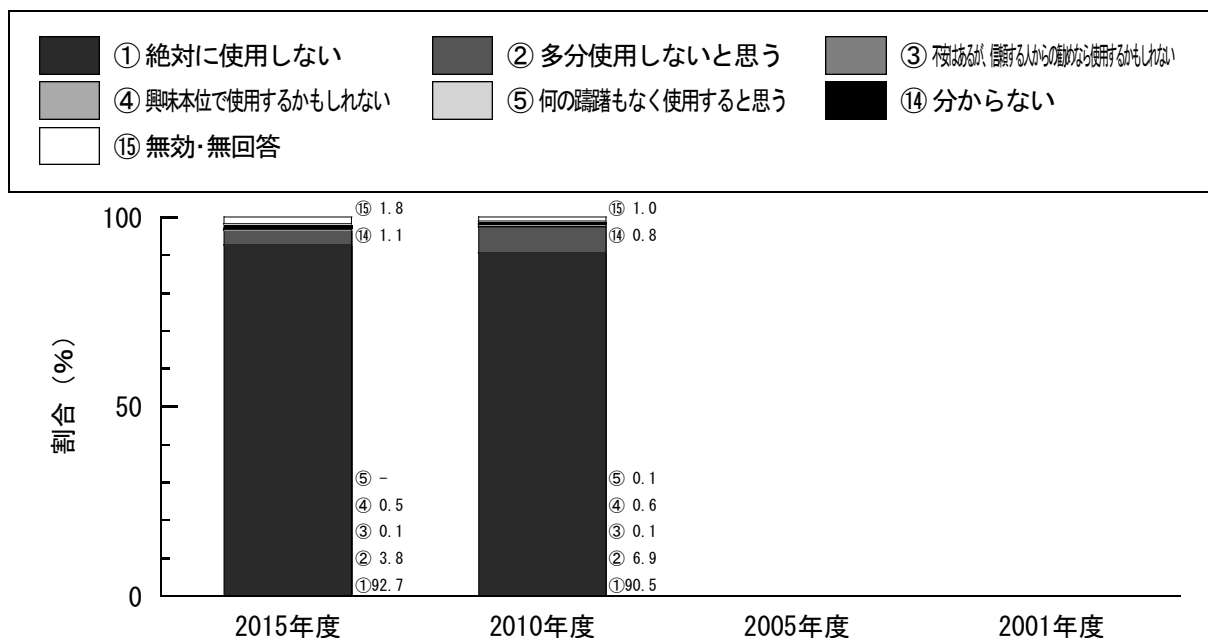


図 7-3-b Q30 の集計結果 (全学に関する調査年度別)